

治療日: 月 日

化学療法指示書

RAM+DTX

療法

患者ID				
患者氏名			指示医師	
身長	cm	体重	kg	体表面積 m ²

適応疾患

※切除不能な
進行・再発の
非小細胞癌

RAM(ramucirumab、サイラムザ) 10mg/kg = () mg/body day1
DTX(docetaxel、ドセタキセル) 60mg/m² = () mg/body day1

*** 3週毎投薬**

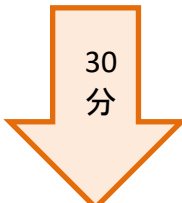
コース目 月 日 (day1)

レスタミンコ-ワ錠 (10mg) 5錠P.O.

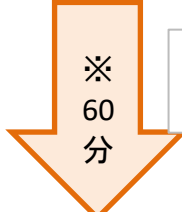
生理食塩液100ml ルート確保・フラッシュ用

※フィルター付きルート要

[:] 本体①
デキサート6.6mg 1V
生理食塩液100mL 1V



[:] 本体②
生理食塩液250mL 1V
サイラムザ mg
(10mg/kg) (全量250mLとする)

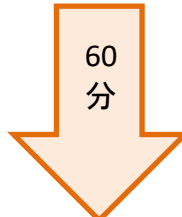


※初回投与の忍容性問題なければ
2回目以降は30分投与

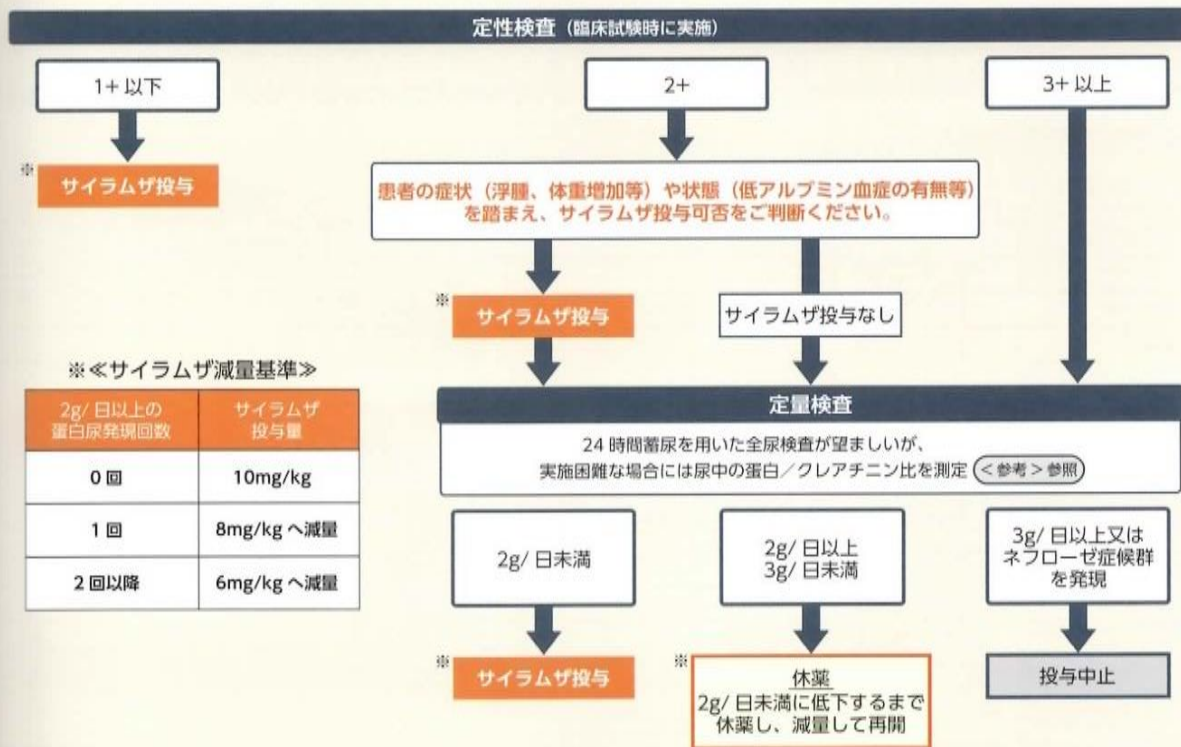
本体③
生理食塩液 50ml 1V



[:] 本体④
生理食塩液250ml 1V
ドセタキセル mg
(60mg/m²)



[尿蛋白検査及び蛋白尿発現時の対処方法]



サイラムザ投与期間中は、定期的に定性検査を実施してください。

<参考>尿中の蛋白/クレアチニン比⁵⁾

『尿中の蛋白/クレアチニン比』は、以下により求めることができます。

尿中の蛋白/クレアチニン比 = $\frac{\text{尿蛋白定量結果 (mg/dL)}}{\text{尿中クレアチニン濃度 (mg/dL)}}$

『尿中の蛋白/クレアチニン比』のポイント

1日尿蛋白排泄量 (g/日) とほぼ等しい、もしくはよく相関することが知られています。

尿中の蛋白/クレアチニン比が 0.3 ~ 0.5 の場合、尿蛋白排泄量は 0.3 ~ 0.5g/日程度 と推定できます。